

MANAZURU

議会だよりまなづる

No. **54**

2017年(平成29年)

2月1日発行



旧イタリアンレストランから真鶴港の眺め

作者：杉村倉太氏

C 目次 ontents

11月臨時会・12月定例会報告	2～4P
委員会等報告	4～7P
審議結果	8P
二見副議長 自治功労賞受賞	9P
一般質問	9～11P
議長の部屋	12P
編集後記	12P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
電話0465-68-1131(内線360)
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

11月臨時会・12月定例会

11月8日
臨時会開催12月8日～9日
定例会開催

11月臨時会は、教育長の任命、教育委員会委員の任命についての審議が行われた。

 **教育長の任命について**

全員賛成
現教育長の牧岡努氏の任期が満了となるため、再任することとなった。任期は31年11月24日までとなる。

 **教育委員会委員の任命について**

全員賛成
任期が満了となる津田博氏の後任として瀧本朝光氏を任命することとなった。

 **専決処分の報告について**

12月定例会は、条例の制定、補正予算の審議などが行われた。

真鶴町のマイクロバス

が、湯河原町所在の小学校の車止めポールに接触、破損させた損害賠償額を決定した専決処分についての報告。

 **真鶴町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

賛成多数
人事院勧告に基づき、国家公務員の給与に関する法律の一部が改正され、議員の期末手当についてもこれに準じる措置を講じるため、改正した。

高橋 22年に真鶴町特別職報酬審議会より、「特別職、議会議員ともに、人事院勧告に基づく国家

公務員の給与改定に伴い、これに準じて期末手当年間支給月数を改定すること」との答申がなされ、これに沿った条例改正がなされたが、今回の条例改正も同じ考え方に基づいて提案されているのか？

町長 間違いない。
高橋 特別職報酬審議会は6年以上開催されていないので、一度特別職の報酬審議会に諮問してはどうか？また、期末手当を審議対象、あるいは協議会のような形で意見を求めるはどうか？

町長 私が町長になった時に減額しているの、私の方針に対して諮問は考えていない。期末手当に関しては、必要があれば検討していく。

黒岩 議員も議長を除く10人のうち4名が反対している。町民からの批判も多い。前にこういうのがあったのだとは初めて知ったが、なぜ再び同じ理由で提案するのか？

町長 今まで人事院勧告できたものを真鶴町はそのまま議会にあげ、議決してきた。3月も同じ、議員からの発議で民主主義の多数決で議決された。反対していてもお金をもらっている。町民はそのことを知らないのではないのか。反対なら、法務局へ供託という方法もある。う。

【反対討論】

岩本 十分な説明責任を果たした上で施行期日も次回町会議員選挙終了以降の日とすべきだ。

村田 町の現状は経済が上向いていると思えない。新たな報酬審議会の答申を得てから決めてよい。

【賛成討論】 なし

 **真鶴町常勤特別職員員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

賛成多数
岩本 人事院勧告は、特別職や議員は含まれていないのだが、承知の上議案を提出しているのか？

総務課長 あくまで準じた形で提出している。

税務課長 償却部分に係るもので、事業者が企画調整課長 横浜市立

 **真鶴町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

賛成多数
村田 ラスパイレス指数は？

総務課長 県内市町村の平均は100を少し超えている。当町は91を少し超えたぐらい。

村田 県内市町村ではかなり低い方という認識でよいのか？

総務課長 その通りだ。

 **真鶴町税条例の一部を改正する条例の制定について**

全員賛成
地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、固定資産税の標準課税額の特例及び軽自動車の税率の特例についての改正。

黒岩 太陽光、風力、その他の再生可能エネルギーについて事業者への固定資産税への減免措置だが該当事業者はあるか？

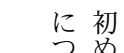
村田 移住施策プロジェクト盾代、大学のゼミに10万8千円は、かなり高額だが？

税務課長 償却部分に係るもので、事業者が企画調整課長 横浜市立

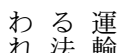
償却資産の申告書をあげて初めてわかる。

村田 軽自動車の税率の特例は29年度まで延びて適用され、安くなるのか？

税務課長 28年度に初めて番号をとった車両について適用される。

 **真鶴町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について**

全員賛成
所得税法等の一部改正を受け、外国人等の国際運輸業に係る所得に関する法律等の一部改正が行われたことに伴う改正。

 **平成28年度真鶴町一般会計補正予算（第3号）**

賛成多数
歳入歳出それぞれ2981万2千円を追加し、予算の総額を33億1532万5千円とした。

村田 移住施策プロジェクト盾代、大学のゼミに10万8千円は、かなり高額だが？

企画調整課長 横浜市立

※注 国家公務員の平均給与額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準を表す指数

質疑応答

大学が真鶴町でフィールドワークを行い、子育てをテーマとしたゼミチームが発表会で優勝した。箱根駅伝で贈っているものと同じ本小松石の盾とした。横浜市立大学とのつながりが保てると考えた。

村田 オリパラ文化プログラム検討事業とは？

企画調整課長 前回の五輪の前年に当町で世界近代彫刻シンポジウムを開催した。五輪に向けて国・県と連携し文化事業を展開していくプロジェクトチームの立ち上げ、資料作成等の経費を計上した。

村田 和式トイレを洋式にする改修事業とは？

教育課長 小学校校舎内の1階と3階の中央トイレを全面的に改修する。

村田 学芸員が長期病休だが、臨時職員の研修など解説ができるようなサポート体制は？

教育課長 受付職員の勤務体制を増やし対応している。説明等は、海洋学の専門の知識を有する

デイスカパーブルーにお願いしていきたい。

黒岩 プール開放監視員の賃金がマイナスだが？

教育課長 天候等により開催しない日があった。

二見 くらしかる真鶴管理業務委託料とは？

企画調整課長 コンシエールジュ事業を展開しており、加えて町を案内していただくという業務を追加したもの。

二見 町が使っているのではないのか？

企画調整課長 10月から事業を開始し、2週間を一枠として貸し出している。12月までは予約でうまっている。

二見 10月27日夜、大騒ぎをしているとの苦情を聞いたが？

教育課長 10月18日から29日まで真鶴半島美術館事業の一環で、みんなの家プロジェクトというものを実施し、27日は成果発表会を行った。内容を確認して、今後はきちんとした体制の中で進めていきたい。

二見 47万5千円で映画

に使ったバス停を設置するということだが？

産業観光課長 映画撮影で使用したセットのバス停を利用するもので、基礎の設置と防腐剤を塗るもの。観光に資することを目指している。

岩本 火葬場の財源更正の理由は？

町民生活課長 補助金の額の見誤りによるもの。

岩本 第2分団詰所の改修とは？

総務課長 雨漏りの改修の設計委託である。

板垣 情報センターの備品購入とは？

企画調整課長 1階のテーブルは10台で、イベント時に足りない。台数を25台に増やす。

板垣 臨時福祉給付金の申請状況は？

健康福祉課長 今回は、国の経済対策として、低所得者に対して1万5千円を支給する。3月末から一部支給していく流れだ。対象者は1673人で計上した。これからホームページに日程を出していく。

青木繁 道路維持管理事業の調査業務委託料、町道内樹木伐採作業委託料に係る道路はどこか？

まちづくり課長 真鶴町の尻掛入り口から湯河原町の福浦に通じる道、町道11号線を車両通行できる計画の調査業務委託だ。ただ、湯河原町が執行しない限り、真鶴町も執行しない。

樹木伐採は、町道に樹木が生えている2カ所。

【反対討論】

黒岩 議員の期末手当と特別職の期末手当の値上げに4つの点で反対する。

①人事院勧告は一般職においては考慮すべきだが、議員や特別職は連動すべきでない。

②町民の暮らしが大変厳しい時期に値上すべきでない。

③手当の値上げに対する批判を聴くべき。

④町民に対する事前の説明、意見交換が不十分。

町民も交えて協議する場を設ける必要があるのではないか。

【賛成討論】なし

千円とした。

 平成28年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）

 平成28年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算（第3号）

全員賛成

全員賛成

歳入歳出それぞれ506万2千円を追加し、予算の総額を14億9490万7千円とした。

予算総額を変更せず歳出予算のみ補正をした。

黒岩 高額療養費が高額になった理由は？

 平成28年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

全員賛成

全員賛成

町民生活課長 高齢者割合の増大、医療の高度化などで年々増加傾向。特に27年度は、それ以前の5年間の平均に比べて16%余りの大幅な伸び。

保健事業は、歳入歳出それぞれ2927万9千円を減額し、予算の総額を8億6960万4千円とした。

大きな要因として、一部で本人負担が軽減され、高額なC型肝炎治療薬の保険適用、抗がん剤の適用拡大による薬価料の影響と推察する。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

介護サービス事業では、歳入歳出それぞれ108万5千円を追加し、予算の総額を485万3千円とした。

12月定例会・委員会等報告



平成28年度真鶴町水道事業会計補正予算

(第2号)

全員賛成

水道事業費用の営業費用に190万円を増額し、2億3221万8千円とした。



物品購入契約の締結について

全員賛成

議決に付すべき物品購入契約について。地方公共団体情報セキュリティ強化対策機器の購入。

村田 保証の契約は？不具合時の対応は？

企画調整課長 無償の保証期間は1年と思う。機器類は概ね5年間使用する

るので、保守管理を入れていく。ウイルス対策の強化でサーバーを2台購入する。片方が壊れても片方が処理可能である。
黒岩 マイナンバー制度との関係は？多額の機械を財政から出すが今後

は？
企画調整課長 単にマイ

ナンバーが施行されたからやるのでなく、マイナ



議会運営委員会

条例・要綱・規則等の

見直しについて

(10月12・26日、11月

9・22日、12月14・21日

開催)

議長より諮問を受け、真鶴町議会会議規則、一般質問の通告、予算・決算の審議方法について、見直しを完了した。

引き続き、真鶴町議会委員会条例等の見直しを行う。

11月臨時会、12月定例会について

(11月2日、12月1日開催)

11月臨時会、12月定例会に提出予定の議案の取り扱いについて審議を行った。

意見交換会について

(11月22日開催)

真鶴町議会意見交換会実施要綱に基づき、自治会連合会と議会との意見交換会を開催した。

当日は、議員定数、同報酬、人口問題、町の活

性化、災害対策等について意見交換を行った。

議会報告会について

(11月25日開催)

真鶴町議会報告会実施要綱に基づき、議会報告会を開催した。

当日は町内から10名に参加いただき、議長あいさつ、各委員会活動報告の後、町有地使用、水道

広域行政、議会広報、総合計画、地方創生、人口ビジョン、災害対策、議会活動等について質疑を行った。

詳細については、町ホームページに掲載予定

であり、また、いただいた要望については、議長より文書にて町長に通知

済みである。



経済文教常任委員会

協議会の開催について

(10月20日開催)

教育委員会において検討されている「まなづる土曜教室」の開設について協議を行った。

行政視察

安曇野市への行政視察

(11月5・6日訪問)

真鶴町と友好都市提携を結んでいる安曇野市への行政視察を行った。

同市内の穂高神社境内

で3年前より開催されている「新そばと食の感謝祭」友好都市ブースには、

一昨年より当町からも出店しており、「おさかな号」に満載の鮮魚・干物

等が販売される様子等を視察、その後、安曇野市長・副市長・議会議長等との意見交換を行った。

石川県穴水町議会来庁

(11月29日来庁)

真鶴町議会における議会活性化への取組状況視察のため、石川県穴水町

議会運営委員会等6名が来庁された。

当日は、町内視察、宇賀町長の歓迎のあいさつに続き、議会報告会、議会広報特別委員会、議会IT化促進への取組等について意見交換を行った。

その他の議会関連行事

8月

- ・湯河原やつさまつり
- ・真鶴町議会議員研修会
- ・芦ノ湖鳥居焼まつり
- ・真鶴町社会福祉大会
- ・岩海岸夏祭り
- ・熱海市議会意見交換会
- ・広域営農団地農道整備事業小田原湯河原線推進協議会総会
- ・丹沢湖花火大会
- ・海のまち豊漁豊作祭盆踊り
- ・例月出納検査
- ・アワビ等養殖実証事業(中間育成) 発足会
- ・真鶴フリーダイビングフェスティバル開会式
- ・湯河原町真鶴町衛生組合議会
- ・マナ真鶴ハワイアンの夕べ
- ・まつだ観光まつり、足

9月 柄花火大会

9月

・防災訓練

・真鶴町議会議員研修会

・真鶴町敬老会

・例月出納検査

・海上自衛隊護衛艦いずも艦内見学

・火山対策研修会

・湯河原町真鶴町衛生組合例月出納検査

・絵画コンクール審査会

・箱根町町制60周年記念式典

・湯河原町真鶴町衛生組合議会

・新コミュニティバス運行開始記念式典

・ひなづる幼稚園運動会

・真鶴町町民運動会

・箱根ガラスの森美術館訪問

・高橋延幸神奈川県議会議員との勉強会

・東京箱根間往復駅伝競走予選会

・まなづる小学校運動会

・美・緑なかいフェスティバル

・中川一政美術館内覧会

・例月出納検査

・真鶴町ふれあいスポー

ツ大会

・湯河原町真鶴町衛生組合例月出納検査

・県町村議長会役員会

・神奈川県町村情報システム共同事業組合議会定例会

・JAZZコンサート

11月

・真鶴町文化祭開場式

・監査委員協議会研修会

・全国町村議会議長会議長全国大会

・小田原地方交通安全総ぐるみ大会

・県際広域防災調整連絡会

・海のまち豊漁豊作祭真鶴龍宮祭

・県議長会役員会

・真鶴町・湯河原町合同国政報告会

・西丹沢もみじまつり

・城下町おだわらツアー

・デーマーチ

・例月出納検査

・湯河原町真鶴町衛生組合例月出納検査

・(仮称)箱根ジオパーク100kmウルトラマラソン大会打ち合わせ

・宮ヶ瀬クリスマス交流懇親会

地方創生等検討特別委員会

地方創生関連事業の進捗状況等について

(11月17日開催)

地場産業の力創生事業

①統一ブランドの構築

「真鶴 本小松石」「いか爆弾」のロゴを商標登録申請済で、現在審査中である。

水産加工品、鮮魚等に用いるため、「どん深の海」の商標登録提案が委託事業者よりあり、検討中である。

ブランドコンセプトワード「旨いぜ!真鶴」「いいじゃん!真鶴」の導入を検討中である。

高橋 「どん深の海」

「旨いぜ!真鶴」「いいじゃん!真鶴」をどのように使っていくのか?

産業観光課長 「どん深の海」

「どん深の海」をパンフレット等に入れたところ、業者等から非常に印象に残るとの評価だったので、商標登録し、「どん深の海」を漁協、魚店、干物店等の水産物に使っていくこ

とのコンセプトだ。

「旨いぜ!真鶴」「いいじゃん!真鶴」は、プロモーション事業のホームページやチラシ等に活用していければと考えている。

これまで、真鶴つてどういうところだろうとの問いかけに対し、こんな町だと簡潔に即答出来なかったもので、一言で真鶴をイメージ出来るようなワードを開発することが今回の事業の一環である。

村田 観光協会では、インターネットでの情報発信時に「真鶴は唯一潮風を浴びながら森林浴が出来る町」を枕詞に使っている。

二見 例えば、「超どん深の海」「超旨いぜ!真鶴」「超いいじゃん!真鶴」など、それぞれに繋がりを持たせた方が良いのではないかと。

板垣 「どん深」という言葉が広まれば、急に深くなった海から捕れた美味しい魚だと想像できると思うが、場合によっては深海魚となってしまう

可能性もある。

高橋 「どん深の海」だから真鶴の水産物の種類は多いではなく、「どん深の海」だから美味しいでないと、販売を目的としたブランディングワードにはならない。

産業観光課長 いろんなご意見をいただき、観光協会とも相談し、委託先と協議する。

②人材育成活動

職人確保には収入面での改善が必要であり、27年度同様の加工体験を継続実施しても、すぐに職人の確保に繋がることは非常に難しいと思われることから、ストーンハーブの製作、ウェブでの事業紹介、募集等への変更を検討し、石材加工組合と協議をしている。

③新たな特産品の開発 新まご茶漬け二品が委託事業者より提案され、飲食店組合、旅館組合役員による試食の後、会員にアンケートを実施した。また、新まご茶漬けの試食会を兼ねたビックバンドJAZZを10月30日

に開催した。

高橋 新まご茶漬け2種類とはどういうものか?

真鶴Ⅱまご茶漬けを町全体で展開していこうというものか?

産業観光課長 海鮮チャールハンに出汁をかけるものと、焼きおにぎりに梅肉やワラサの切り身をのせ、ほうじ茶をかけるものの2種類で、町内各店舗より希望があれば、レシピをお渡しする。

高橋 ビックバンドJAZZとの関連は?

産業観光課長 単なる試食会ではなく、真鶴岬のロケーション宣伝を兼ね、首都圏から真鶴に来ていただき、新しいお茶漬けを食べていただくというものだ。

高橋 約280万円をかけてアンケート回収60枚、半数以上が町内では費用対効果が著しく低い。

より多くの人が集まるイベントで、試食いただく条件としてアンケートに答えていただく方がよほど効果的だ。

④生産力強化に向けた実

委員会等報告

証実験

真鶴町水産業生産力強化事業補助金（補助金額700万円）の一般公募を行った結果、「アワビ等養殖実証実験事業」が採用となり、アワビの種苗20000個を中間育成するにあたり、単細胞殺菌増殖抑制効果が有る機械を設置した水槽と、設置しない水槽とで、成長率及び残存率の実証実験を行っている。

地元小中学生に養殖事業の見学会を実施し、本事業を地域住民にも広く浸透させることで、総合的な地域振興を目指す。

⑤岩牡蠣養殖試験

昨年度から実施している岩牡蠣種苗は、8・9月の台風の影響もなく生育しており、今年度も同数の60000個を11月末に同海域に垂下する。

未病戦略的エリア『未病いやしの里』構築事業

診療所を拠点として、町民が安心して心も体も健康で暮らし続けるために、未病の普及、啓発を実施

するもので、「真鶴町の地域と医療を考える会」を継続実施し、毎回約50名が参加、認知機能低下の早期発見、早期対策のため、脳年齢測定器を診療所待合室に設置を計画している。

坂垣 脳年齢測定器とは？

診療所事務長 「これから言う三つの言葉を覚えてください」といった質問にタッチパネルで回答すると、認知機能低下等の状況が出力されるもので、あくまでも認知症の気づきを早期に行うことを目的とした機器で、認知症が決定されるものではない。

坂垣 「真鶴町の地域と医療を考える会」への町内の参加者の割合は？

診療所事務長 8割が町民、2割が行政関係者、医療関係者である。

青木繁 高齢者の運転問題への啓発にも役立てられるのでは？

診療所事務長 気軽な気持ちでテストができる、お子さんでも楽しくでき

るような仕組みになっており、診療所に来て気づいていただくことで、早期に服薬で抑える等の治療に繋がっていききたい。

診療所発行のお便りや、町広報誌での情報提供が大事ではとの提案をいただいております、健康をテーマのシリーズ物を掲載することで「心と体も健康に」を広めていきたい。

田中 「真鶴町の地域と医療を考える会」で、町民の方から体験談を話していたら、さらに充実するのでは？

診療所事務長 以前、若年性認知症を患った奥様を持つ方に体験談を話していた際に、胸に刺さるお話に涙する方もいらした。

高橋 「数字から見える真鶴町民の健康状態」では、参加町民の認識と実際のデータとの間にはかなりの食い違いがあり、それが死亡率や疾病率・発病率に結びついていることに気づいていただくと

いうのが最重要ポイントで、例えば診療所だよりを町広報誌に挟み込む、連載記事を載せる等の取り組みも良いのでは？

診療所事務長 地域福祉計画策定の中でも、健康課題を共有するため、どのように広報していくかということが共通した課題であるので、皆様の意見を伺いながら、SNSやメールでの発信等広く町民の方に訴えかけられる広報を考えている。

美しの町真鶴創生事業

①真鶴半島美術館・創作の場形成業務委託事業

真鶴で行われる一級の「ものをつくる営み」を楽しむ、学べる仕組み作りを行い、真鶴半島自体が創作の場として人を繋ぐ場となっていくこと、これらを発信することによって、観光客や移住者を増やしていくことに繋げて、真鶴半島自体が美術館であるということを発信していく。

・10月18日より地域情報

ウェブマガジン「コロカル」に「真鶴半島イトナミ美術館」のサイトを立ち上げ、ものづくりを営む人たちについて随時掲載、発信

・「コミュニティ真鶴」、観光協会2階の「MANAZURU Tech Lab」、くらしかる真鶴」で使用している建物を美術館へ繋がる本活動の発信拠点として整備し発信を強化

・「くらしかる真鶴」で使用する建物にて10月19日から10日間「みんなの家プロジェクト」を実施、3人の招聘アーティストにお試し暮らしをしてもらいながら、町の魅力を町民に広く共有してもらうための真鶴の地図作りや動画ページ作り、真鶴地産の食べ物を使ったレシピなどを作成し、町民と交流を持ちながら賑わいを構築していくイベントを実施

・「真鶴半島イトナミ美術館」を通じ、中川一政美術館を拠点として半島内の小美術館、ギャラリー、工房等を回遊するシステムを構築

・3月に開催される「真鶴まちなれ」で、美術館周辺にも作品を展示し、「真鶴まちなれ」参加者を呼び込み、期間中の週末には美術館開館時間を延長するなどとして集客に努める。

高橋 サイトの閲覧データだけでは、どの情報を見たかが分かるだけで、その内、何人が美術館へ見えたかが分かってくる仕組みづくりをしていくか？

教育課主査 委託先と協議し作っていききたい。

高橋 「みんなの家プロジェクト」には、色々な方が立ち寄られ、「なかなか面白かった」とのコメントを聞いたが、地図や動画を作る、地産の食べ物を使ったレシピを開発したことが、今後何に繋がっていくのかが良くわからない。

「真鶴半島イトナミ美術館」についても、コンテナを作って見ていただくことで終わるのではなく、そこから何かが発信されないと広がり生まれにくい、広がりが美術館の集客、町全体としての観光客の誘致、インバウンド誘致に繋がる。集客のための情報発信にはかなり力を入れていくが、イベントの結果を次に繋げていく取組みが足りないのではないかと教育課主査 「真鶴半島イトナミ美術館」を通じて、集客に繋がる人選を行い、評価に繋げていきたい。

②文化拠点施設創生業務委託事業

中川一政美術館の運営強化、ブランディング、若者や海外からの観光客等の新たな顧客層を開拓するため、

- ・ポスター、リーフレットを小田急全70駅に掲示
- ・熱海・湯河原・箱根・小田原各観光協会、施設、館、首都圏の美術館や関係館94力所に配布

・西湘地域を走る箱根登山バス100台の車内に3カ月間ポスターを掲出

- ・日本語、英語、中国語の3カ国語を併記したガイドブックを作成し、空港、海外からの観光客や若者が集まりそうな場所に配架
- ・ノベルティグッズ作成
- ・若い有名書家による書のワークショップを、美術館ロビーや茶室で実施

といった取組を行う。

村田 約2600万円を掛け、何人の美術館入館者数を見込んでいるか？

教育課主査 「真鶴半島イトナミ美術館」の記事

閲覧回数増、SNS等での情報拡散、美術館周辺に「真鶴まちなれ」の展示作品を設置する等により、合計約8000人を目標としている。

村田 一人呼び込むため

に約3250円かかり、入館料600円の5倍以上と、広告料としては高いのではないかと教育課主査 今後に繋げるための投資だ。

高橋 目標達成の判定方法や、どの媒体を経由して美術館へ来館されたかといったデータ収集への取り組みは？

教育課主査 来館者へのアンケートで、何を見て

来館されたかを聞いており、委託先からも閲覧データが提供される。

村田 「中川一政美術館を拠点として半島内の小美術館、ギャラリー、工房等を回遊するシステムを構築」とあるが、回遊システムとは？

教育課主査 「真鶴半島美術館自走エンジン」地図に、美術館、ギャラリー、カフェ、施設等を

図示、記事を紹介し、お客様自ら回遊していただく。

③町の門口構想事業

真鶴駅前整備にかかる基本構想を策定し、芸術のまち真鶴を回遊してもらう体制を整えるもので、構想の策定に向け、商工会等の町内関係団体、小田原土木事務所、警察、官公庁等へアンケート調査を実施し、現状と課題を整理し、これを基に3

月までに構想を策定する。

④創作拠点の整備事業

「モノを創りに真鶴に来る」という新たな流れをつくるため、クリエイター（創造者）やアーティスト（芸術家）が滞在制作できる創作拠点施設を、空き家を活用し整備、公設民営型で事業を行う。

真鶴町産業の力創生事業

①農産物生産試験補助事業

27年度から生産試験を実施しているライム、アボカド、オリーブは、概ね順調に生育している。

②漁業取得倍増対策基礎調査業務委託事業

魚価の低迷や資材高騰等により疲弊している水産業を再生するため、岩漁港を対象として持続的な発展及び活力ある漁業を実現するため基礎調査をする。

③働き手・真鶴町移住推進事業

・移住定住推進事業検討調査業務委託

移住定住に関する取り組みについて、必要な調査・分析を行い、総合的な対策案を策定する。

・移住定住推進サテライトオフィス誘致検討調査事業

移住定住推進に係る先進的対策であるサテライトオフィスの誘致について、真鶴町での実現可能性について検討する。

高橋 いずれも委託事業か？スケジュールは？

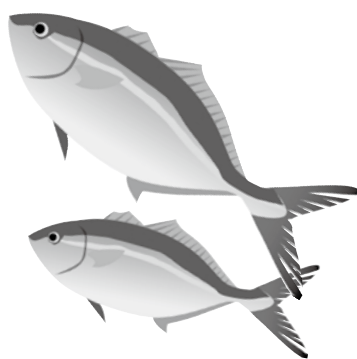
渉外係長 委託事業で、特に後者は、徳島県美波町で13社のサテライトオフィスの誘致実績を有しており、オフィス誘致以外にも若者の人材育成行っている会社である。

11・12月に集中的な現地調査、現状分析を経て、2月末完了を目指す。

「議会だより」読者アンケートにご協力ありがとうございました。

読者の皆様のご意見を反映させるべく継続的にアンケート実施しております。1月31日をもって、一度終了いたしました。

集計を行い、これから議会だより編集の材料とさせていただきます。お忙しいなか、アンケートにご協力くださった方誠にありがとうございます。なお今後とも、ご意見ご感想等、書式自由で受け付けておりますので、町議会の方までお寄せくださいますようよろしくお願いします。



平成28年 11月臨時会 審議結果

会期(11月8日)

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木繁	村田知章	青木 厳	二見和幸
同意第3号	教育長の任命について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意第4号	教育委員会委員の任命について	10	10	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

平成28年 12月定例会 審議結果

会期(12月8日～9日)

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木繁	村田知章	青木 厳	二見和幸
報告第4号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定)				報											
議案第51号	真鶴町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	6	4	可	○	○	×	○	×	×	○	○	×		○
議案第52号	真鶴町常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	8	2	可	○	○	×	○	×	○	○	○	○		○
議案第53号	真鶴町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第54号	真鶴町税条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第55号	真鶴町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第56号	平成28年度真鶴町一般会計補正予算(第3号)	10	6	4	可	○	○	×	○	×	×	○	○	×		○
議案第57号	平成28年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第58号	平成28年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第59号	平成28年度真鶴町真鶴魚座・ケーブ真鶴特別会計補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第60号	平成28年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第61号	平成28年度真鶴町水道事業会計補正予算(第2号)	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第62号	物品購入契約の締結について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥

議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択



議会を傍聴してみませんか
次の議会は
定例会3月7日(火)～17日(金)の
予定です。

真鶴地域情報センター・
インターネットでも
議会中継をしています。

二見副議長 自治功労者表彰

11月18日大井町生涯学習センターで平成28年度自治功労者表彰式、町村議会議員研修会が開催されました。

自治功労者表彰式では11年以上町村議会議員の職にあるものとして5名の議員が表彰され、真鶴町議会からは二見副議長が表彰されました。

後とも、周囲の方々の協力を忘れず、精進してまいりたいと考えておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



◎二見副議長のコメント

今回の自治功労者賞は、自分ひとりの力で得たものではなく、後援会の仲間や応援して頂いている町民の皆様から協力をいただいて初めて受賞できるものだと思っています。いつも気持ちよく議会活動ができるように、お力添えいただき、本来にありがとうございます。今

平成28年度 自治功労者表彰式・町村議会議員研修会



自治功労者表彰

一般質問



村田 知章
議員

町行事の一元管理を！

Q 町に町行事のスケジュールを確認に行く

と、それぞれ担当課ごとに管轄する行事が違ってしまうことで、それぞれの課や教育委員会など個別に確認してほしいと言われる。IT化の時代、各課の決まっているスケジュールを一元的に管理することはできないか？

また、町行事の年間スケジュール表をホームページで公開できないか？

A 現在、町では新たなホームページの作成作業を進めている。その中で年間スケジュールを公開するためのイベントカレンダーを構築する。

それによりイベントスケジュールを随時更新し、最新情報を提供する。掲載内容は、今後検討し決めていく。

イベント宣伝足りない！

Q 町民から指摘があり「町はいろいろなイベントを開催しているが、そのことを多くの町民が知らない、知れ渡っていない」「終わってから開催されたことを聞かされても、意味がない」という話だ。

町としてもポスターやのぼり旗、広報などで宣伝の努力していることは承知している。だが、現実問題として、イベントの周知がまだまだ工夫が必要であると思うが？

A 毎回同じ宣伝方法ではなく、イベント毎の目的・内容によりターゲットに効果的な宣伝ができるような方法を考える。行うものとする。

景観の維持は計画的に！
Q 美の町を保持していくには、普段からたゆまぬ修復や創出が必要なことだと思う。そのまま放置していると、いつの間にか景観としての美的なものが失われたり、色

あせたり、老朽化したり、荒れ果てたりしてくるものだと思う。

美の町であり続けるために、通常の管理とは別に、町として、どのような施策を考えているか？どこをどのように手直しすれば、さらなる美の町にふさわしくなるのかという検討も、町として総合的に計画管理していく必要もあると思うが？

A まちづくり条例では、町は建設行為の規制と誘導を行うと規定している。美の町を保つために町が個々の場所を管理するということではなく、町民の一人一人が主役となって町の景観を形成し、継承していただくことであると思う。そして、町はまちづくり条例の基本理念を町民の皆様周知し、ご理解していただき、まちづくりの推進にご協力いただくよう努める。

また、公共施設の環境美化は各所管課で管理しているの、汚損等に気づかれたらご指摘ください。

一般質問



板垣由美子
議員

子育てを力強く応援！

「やすらぎとふれあいのなかで健やかに子どもが育つ環境の整備について」

Q 日本創成会議分科会の発表内容には、消滅の可能性が高いと言わざるを得ない自治体として、当町もリストアップされている。

平成28年3月策定の「真鶴町人口ビジョン真鶴まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中では若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるために、子育てしやすい環境を充実し、子育ての切れ目ない支援を行っていく必要があるとなっており、子育てについて次の点についての考えは？

公約の子どもを育てやすい環境の整備の「入学祝い金制度」の創設、「マ

マさんリフレッシュサービス」の実施、「防犯ブザー」の配布をどの様に実現していくのか？

A 「入学祝い金制度」の創設については、小・中学校の入学時に必要な品物等の購入にあて

ていただくために支給。支給対象者や額などを定めた支給要綱を整備し4月の支給に向けて体制作りを整えていく。

「マさんリフレッシュサービス」については、地域の支援制度の「まなサポ」により、子育てサロン「まなつこ広場」を活用しての一時預かりの実施を計画している。

「防犯ブザー」の配布は安全に登下校できる対策として、小学校1年から中学校3年までを対象に支給していく。

Q 「子育て世代包括支援センター」（日本版ネウボラ）は妊娠から出産・子育てまで、切れ目のない支援を行うもので「改正児童福祉法」で設置が位置づけられている。設置についての考えは？

平成32年度末までに設置の義務付けがされており、当町においては既にワンストップにより支援を行っているが、設置に向け、出産から子育てまで切れ目のない、よりきめ細かな支援を行えるよう準備していく。

Q 子どもの予防接種日の確認や、そのお知らせなど、様々な機能が利用できる電子母子手帳サービスの導入は？

A 電子母子手帳のサービスについては、神奈川県が運用しているの

で、周知・広報していく。導入については、今後近隣市町の動向を踏まえ検討していく。

Q 共働きのご家庭にあつて、保護者が二人とも遠方に勤務地がある場合など、早期保育の実施も必要だと思いませんか？

A 町内の貴船愛児園は朝7時30分から、石田保育園は8時から開所している。

共に民間施設であり、要望はするが、実施の判断は保育所となる。

共

一般質問



高橋 敦
議員

県立真鶴半島自然公園の整備、維持管理について

Q 今年度の整備状況、来年度の神奈川県に対する施策予算要望と見通しは？

A 擬木柵・排水路・コンクリート階段補修、斜面の整備、老朽化した丸太階段から石段への更新を予定しており、更に県と現地立ち合いを行い、実施箇所を決めていく。

洋式化したお林と三ツ石の公衆トイレのスペース拡張も要望していく。

Q 実施箇所や予算は増加しているか？

A 27年度は対前年度比約6割増、28年度は現時点で約4割増だが更に増える見込みで、以前に比べ、県担当者の現地訪問回数も増えている。

Q 「公衆トイレが改修されたことは良いが、

蜘蛛の巣やホコリが…」との声がある。

委託をして終わりではなく、日常の管理や清掃状況を定期的に発注者側がチェックすべきだ。

A 清掃等の管理体制、委託先への連絡等を強化し、検証・分析・改善のサイクルを続け、成果につなげる。

Q お林調査の結果を踏まえ、協議会を設立し保全方法について検討のことだが。

A 現行あるものの整備維持管理とは別に、専門家を含め行ってきた調査結果に基づき、お林の現状や今後の保全の在り方等を検討し、協議会で方針を定めていく。

Q 観光・防災Wi-Fiシステム整備について現状のWi-Fi整備状況と利用可能範囲、今後の見通しは？

A 情報センター、産業活性化センター、くらしかる真鶴、新設予定の創作拠点施設の4施設であり、いずれも室内用のため、建物の周囲2〜

3層が有効範囲である。今後は、観光協会、商工会、商店街等と官民共同により観光用Wi-Fi整備計画を策定し、オリンピック・パラリンピック開催に向け整備を進めたい。

Q 防災行政無線施設は非常時にも電源が確保されているはずだ。この機能を用いたWi-Fi整備も検討してはどうか？

A 防災行政無線子局へのWi-Fi設置は、全国の町村の1〜2%しかなされておらず、財政面や、Wi-Fi機器の漏電、ショート、発火等のリスクも慎重に考える必要がある。

Q 防災行政無線の常時確保は当然だが、上手く利用すれば、音声広報だけでなく電波による広報も可能になることも考えられる。

点を線につなげるスタンスを観光だけに留めず、災害発生時にも使えるような取り組みも検討を。



光吉 孝浩
議員

「デジタル行政無線の
声について」

Q 聞こえにくいのは、
地域的なものか？

A 定時放送は女性の声
に近い機械音声、イ
ベントの延期や中止は職
員の肉声と、一定のもの
でない。

音声到達調査では十分
に届いているのだが、更
新工事前は、家のそばに
スピーカーがあったが、
他の高出力のスピーカー
でカバーできるようになっ
たことで、近くのスピー
カーが撤去された所が多
いようだ。スピーカーが
近くにあった時との受け
取り方の違いのようだ。
聞こえにくい地域の調査
を行い、スピーカーを高
出力にかえて対処してい
く。

Q 緊急放送と区別の方
法は？

A 津波情報など出た場
合にはチャイムは鳴
らず、音声から始まる。
聞き逃した場合、電話
で放送内容が聞ける取り
組みもしている。

☎ (69) 1890

「半島美術館事業と、く
らしかる真鶴へみんなの
家について」

Q 2千万円規模のこの
事業の着地点とは？

A 真鶴半島全体を創作
の場、芸術の場、一
つの美術館として捉え、
文化芸術で新たな観光客
の流れを作る、さらには
文化芸術やものづくり
に関心のある人の移住も視
野に入れた事業だ。

初回が、くらしかる真
鶴の「みんなの家」プロジェ
クトだ。町外からアー
ティストが二週間ほど滞
在し、真鶴のマップやレ
シピを作った。ウエブマ
ガジンで特設サイトを立
ち上げ、真鶴町の魅力を
発信していく。

ゴールがスタートにな
ると考えている。
事業でいろいろな成果



物が生まれる。物や、人
と人との繋がり、あるい
は一人一人の心の中に芽
生えたまちづくりという
ものかもしれない。これ
からの真鶴を真剣に考え
ている若者も参加してい
るので、若者たちの活動
を温かい目で見守ってい
ただきたい。

「小学校裏側の通路の
未舗装部分について」

Q 舗装し、車が通って
児童への影響は？

A 三、四年ほど前に町
で修繕を行っており、
状況は把握していた。凹
凸の状況が激しくなった
ので、29年度舗装などの
根本的な対策をする。

スピードの出し過ぎも
考えられる。児童の交通
安全面からは、舗装の仕
方を十分に考えていく。

一般質問



黒岩 範子
議員

コミュニティバスの高齢
者割引の実現を

Q 装いも新たにコミュ
ニティバスの運行が
始まり町民の話題となっ
ている。障害者の割引は
実現した。スイカ・パス
モを使用する場合は、回
数券と同じように10回で
11回の利用が出来る事
になったが、高齢者の割
引は今後の課題とされた。
そこで愛川町で実施して
いる「かなちゃん手形」
という高齢者バス割引乗
車券購入助成事業を紹介
し所見を伺う。愛川町で
は高齢者の外出拡大、社
会参加、生きがいの増進
を目的に、町内に住所を
有する70才以上の高齢者
に対し神奈川中央交通株
式会社と連携し、どの区
間でも一回1000円の運
賃で年間の利用者負担は
3千850円(かなちゃん

手形9千850円)に対
し町の補助は6千円)の
割引乗車券を発行してい
る。70才以上の対象者の
内3割以上が利用されて
いるそうだ。当町では、
今までも高齢者の利用が
多かったが、無料が20
0円、往復で400円に
もなるので外出を控える
方もいる。又、最近高齢
者ドライバーの交通事故
が増加し、免許証を自主
返納される方も今後増加
していくことが予想され
る。町の活性化のために
高齢者の割引は必要では
ないか。

当初から開始し、各費目
について児童生徒が援助
を必要とする時期に速や
かに支給できるよう十分
配慮すること。特に新入
学児童生徒学用品費等」と
指示がされた。現在、
当町では新入学児童生徒
学用品費は7月に支給さ
れている。しかし、子育
て支援の立場から、入学
準備が必要な3月に前倒
して支給出来ないか。準
要保護世帯の小中学生が
対象だが、両方一度に出
来ないなら、中学生だけ
でも先に実現できないか。
小田原市などでも実施し
ている。又、クラブ活動
費、生徒会費、PTA会
費も補助の対象にすべき
ではないか。

A 高齢者の割引制度に
ついてはある程度の利
用者数の検証や利用者へ
のアンケート調査を実施
し、その結果を踏まえ、
地域公共交通会議におい
て議論し検討していく。

就学援助制度の中の「新
入学児童生徒学用品費」
は7月の支給でなく準備
が必要な3月支給を

Q 国より就学援助金の
支給について「年度

他に平成29年4月から
始まる介護保険の総合事
業について質問した。

他に平成29年4月から
始まる介護保険の総合事
業について質問した。

議長の部屋



青木 巖

幻の石材「白丁場石」と土屋大次郎

「相州本小松石」の真鶴町石材業の発展に寄与した土屋家と幻の石材「白丁場石」の関連を町民の皆さんにお伝えしたいと思います。

「白丁場石」は、明治大正時代に帝国議会議事堂（現国会議事堂）や日本銀行平壁に使用され、三菱財閥の高輪岩崎邸に、後に旧横浜銀行平壁、迎賓館赤坂離宮中庭石に「白丁場石」が使用されました。

白石について「相州六カ村の石材」文献に記載があり湯河原町鍛冶屋産出の箱根火山由来の白い安山岩で真鶴産小松石とは全く異質な石材でした。建設用安山岩として第1級石材として紹介され「色の白きこと細工加工

がしやすく建築用安山岩として重宝されました。ここで注目する人物は、岩村で小松石砕石に成功をおさめた土屋大次郎が鍛冶屋の白石に注目し採掘の権利を土屋に譲渡され経営権を持ち石材の切り出しを開始したことです。（明治21年から28年までの経営でした）

土屋氏は土屋商店を開業し石材の採掘・輸送・販売・据え付けなどの事業を展開しました。県西部産の安山岩を東京湾要塞の砲台、横浜港三菱造船ドックヤード、浦賀ドックヤードに石材を供給し財をなしました。

土屋氏は大型の複数の和船も所有し石材運搬業「相模回漕組合」を設立し動力機関を購入し企業家としての礎を真鶴と湯河原の産業発展に寄与されました。湯河原と真鶴を石材で結び湯河原の「白丁場石」真鶴の「本小松石」を全国ブランドに仕上げた先人に強い敬意を表します。後に土屋氏は茨城県等間に花崗岩の白御

影石丁場を開発し明治42年には衆議院議員に当選するが翌年54歳で死去されました。（参考文献―県立博物館誌）



身の丈に見合う財政運営

8月22日から30日まで平成27年度決算の認定と今年度補正予算の審議を行いました。

平成27年度決算認定については、一般会計決算で、実質単年度収支が約2億5900万円黒字で、年度間における財源の調整を行ない、町財政の健全な運営のための貯金である財政調整基金は約1億7000万円になりました。

一般会計における財政調整基金の「適正規模」

は、真鶴町の標準財政規模で約21億円の10％程度あれば突然の財政出費に対応できるとも考えます。今年度の補正予算で基金が3億円を超えたことは、来年度以降の財政運営において急な財政出費に対応できる基金額であると思います。

財政指数である平成27年度の経常収支比率は83・9％で前年度の88・8％より低くなっており、全国市町村平均90・0％、神奈川県市町村平均92・1％に比べても低い数値となっています。これは経常的に支出される固定経費を抑え、町債の発行を3.7％減少させるとともに、公債費返済が6.8％減少したことにあります。

経常収支比率は、低いほど財政の弾力性が高く、逆に高いと財政の硬直化を示しますが、町は硬直化が進まない努力をした財政運営であると評価します。

しかし、財政力指数は、平成25年度で0・52、26年度は0・51、27年度は

神奈川県速報値で0・50でした。財政力指数が高い地方公共団体は税収等の自主財源が多いことを意味し、稼ぐ力が強いといえますが、真鶴町では、税収が減少傾向にあるため、財政力指数は低くなっており、自主財源の歳入総額に対する比率は40％です。

税収が減少している要因の一つは、人口減少にあります。平成25年住民基本台帳で8004人です。26年人口は、7882人で27年は、7708人と二年間で300人減少しています。（各年1月1日現在の住民基本台帳から）

また、町基幹産業の不振も要因となっています。議会は、町税収増のためにも地方創生、まち・ひと・しごと施策を進め、町産業の活性化として観光事業と連携した漁業の6次産業化、石材業の付加価値をつけた商品開発化等を進め定住、移住促進のための環境づくりを町に提案してまいります。

平成25年度で0・52、26年度は0・51、27年度は

編集後記

海の中は、しんと静まりかえり、一年のうちでも最も冷たい季節になっています。

各委員が作成した原稿に目を通しますと、熱い質疑や討論が蘇ってきます。

言葉の力が、心を動かし、さらに幾重にも重ねていくことで、日々の暮らしが良い方向に進んでいくことを信じております。

議会広報特別委員会
委員長 光吉孝浩



議会広報特別委員会

委員長 光吉孝浩
副委員長 村田知章
委員 板垣由美子
委員 黒岩範子
委員 高橋克美
委員 岩本美